

2019年度 エクシヴ広島自己評価結果報告

放課後等デイサービスガイドラインに基づき、保護者向けアンケートを経て、2019年11月11日から30日に療育スタッフを対象としたアンケートを実施しました。「工夫している点、課題や改善すべき点など」の欄に記載があった様々な意見から、今後の取り組むべき課題やその方向性について以下に記します。

設問1について

トイレが複数あると良いという意見や着替え等、多目的に利用できる独立した部屋がもう一つあれば便利という意見があるが、増築やリフォームの予定は今のところ考えていない。引き続き、トイレを利用するタイミングが一度に集中しないようスケジュールの工夫をしたり、現状の「静養室」をいつでも利用できるように整理整頓をしておく等、限られた空間を工夫して利用する。また、昨年のアンケートを経て、絵画活動時の水入れやパレットの片づけ方および、おやつのお出し方等、具体的に変更したことにより、流しの衛生管理と水場の動線、また全体的に人の動きがスムーズになってよかったと評価する。流しについては、ウォールステッカーの張り替えを行い、より清潔になった。「教材室」の整理整頓については課題だと認識している。毎月1回実施している施設内安全点検に加えて、教材室の大掃除を実施したい。

設問2について

国の人員配置基準に基づき、スタッフの配置をしているが、曜日や時間帯、また状況によっては、人員が不足していると感じるスタッフが25%いることが分かった。また、スタッフの休み希望が重なった場合や急な体調不良等による人員補充については苦慮していることから、慢性的な人員不足であることは否めない。療育内容や個別支援の必要に応じての適切な人員配置について、どの曜日のこういった状況において人員が不足しているのか、詳細を検証した上、それを配置数における課題としてのみならず、事業所運営及び、療育内容等全体の課題として取り組む必要があると考える。

設問4について

普段の療育や個別の支援について、また、特別な行事等のふりかえりは毎月の事業所ミーティングのみならず、昨年度から設けるようになった療育前の「情報共有の時間」を利用して意見交換をしている。この時間を有意義に使えているという意見があったので、今後も続けていきたい。

設問8について

外部からの研修についての情報は、事業所内で広く共有するようにしているが、時間帯や曜日等の日程が合わないことが理由で参加実績は低いと言わざるをえない。事業所内研修ができればいいが、内容や講師の選別等、実施するにあたっては課題がある。今後、事業所にこういったことが不足しているか、働くスタッフがこういったことを学びたいと思っているか等、聞き取りをすることから始めたい。

設問16について

「支援終了後」に限定して評価すると、十分にできているとは言えない。よって、問4において記した通り、ふりかえりや支援についての話し合いは、別で時間を確保している。また、「職員連携ノート」と「つぶやきふせんノート」を用い、気になったことは、その共有の時間まで記憶にとどめておくのが不安な場合、自由に書き込めるようにしている。「療育終了後」を重視するならば、勤務時間の全体的な変更が必要となってくるため、当面この方法で実施する。

設問26について

これまで行事として放課後児童クラブ等との交流の機会をもったことはないが、スタッフの関係者で、クリスマス会等に事業所を訪ねてくれる児はおり、いい交流の時となっている。また、以前、地域の方から交流イベントに誘っていただき、地域の高齢者や子ども達との交流を楽しむ機会があった。

設問29、32について

「ペアレントトレーニング」と題して行っている訳ではないが、保護者への支援は、大切な事柄としてとらえている。保護者同士の連携を支援するイベントである「エクシヴカフェ」は好評につき、今年度秋に6回目を終え、スタッフとしても良いイベントであると評価している。

設問37について

今年度初めて、イベントを催し、地域の方にもお越しいただけるように案内を出した。今後も引き続き地域に開かれた事業所運営をしていきたい。

設問38について

各種マニュアルは存在するが、「いつでも閲覧しやすいところに置いてあるわけではない」という意見が多くあったため、閲覧方法の工夫をする必要があると考えている。

設問40について

近々で研修に行ったスタッフから、虐待防止委員会発足案があがっている。これを早急に具体化していく。

設問43について

事例については書類を閲覧すること、また会議で議題にあげることで周知している。また、パートタイム勤務の職員は勤務日数の関係で、タイムリーに把握できない場合もあるが、できるだけ迅速に情報を共有するようにしている。

以上